



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和6（2024）年8月30日 第6号

文責：校長 佐藤 正貴

前期後半が始まりました

学校教育目標の出だしは「磨き（己）」となっています。学校教育の大きな目的の1つは、自分自身の人としての資質を磨き、能力を高めることにあります。そのために、本校では、「人の話をしっかりと聞く力を身につけること」「人の迷惑になるような言動は改善していくこと」を大切にしている教育活動を展開しています。これは、昔から言われている「人が社会で生活していく上で、当たり前のこと」です。しかし、この当たり前の事は、一度話をしたからといって簡単に身につくことではありません。なぜなら、人には感情があるからです。心が穏やかな日もあれば、落ちつかなくなったり、イライラしたりする日もあります。そうした感情があるから、同じ状況でも相手のことを考えた丁寧な対応ができることもあれば、攻撃的な対応となる場合もあります。要は、多くの経験を積み重ねながら、自分自身の心、言動を振り返りながら考え続けていく必要があるということです。これは、学校に通っている児童だけではなく、我々教職員も同じです。

昨日、前期後半の始業式を行いました。そこで、児童には夏休み前の自分を「話を聞く・人に迷惑をかけない」という2点について振り返って貰いました。「できていた」と振り返っていた児童には、そのままの自分で在り続けてほしいと話しました。「十分にできたとは言えない」と振り返った児童には、自分の心を振り返ること、言動を思い返すこと、どうしたら良かったのかと、自分自身が失敗したということを理解することが大切だと話をしました。自分の失敗に気がつき、それを改善し続けることが自分自身の資質を磨き、能力を高めることに繋がります。

児童一人一人が、自分自身を磨き続けていけるような教育活動になるように職員一同努めて参ります。よろしくお願ひします。

8月28日（水）の様子から・・・



オンラインでの前期後半始業式でした。体育館は暑いと考へての対応でしたが、台風の影響もあり、意外と涼しかったです。結果論で物事を判断するのではなく、様々な状況を想定しながら、児童の安全を考へた対応を重視しています。コロナ禍で学校が学んだことです。



早速、夏休みの学習状況の点検をかねて、漢字のテストが行われていました。解答状況を見てみましたが、割と書けていると思ひました。漢字は日々の書き取りの継続や読書習慣で大きく成果が変化してきます。「継続は力なり」といひますが、続けることができるという能力を伸ばしていきたいですね。続けるためには、できたという実感や好きになることが大切ですが・・・。児童がそう思えるような授業づくりに力を入れています。



6年生・5年生・3年生が多目的ホールで学年集会をしていました。前期後半に向けて、学年で重点的に取り組む事を確認していたようです。今年度は、各学年で学級間に差が出ないようにチームとして教育活動を充実できるように工夫して行っています。同じ時間に同じ話を聞く、考へることで、集団の質を高めることに

つなげて行っています。